

常任委員会での協議内容（平成29年12月分）

No	議会報告会での市民からの主な意見	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
1	<p>まちづくり会議でもお願いしたが、相木地区も人口が増えてきている。JRとも協議して松任駅周辺に交番又は派出所を設けてほしい。</p> <p>（相木地区）</p>	<p>松任警察署が移転したときからその意見は多く出ている。以前は北側と南側の両方で要望していたこともあり、警察としても2つは難しいということだった。今は南側のほうで話をしているようなことを聞いているが、どちらにしても必要だと思う。</p>	<p>平成27年3月に白山警察署に対して設置要望書を提出し、その後も粘り強く要望しており、地域住民の熱意は十分に伝わっているものと思う。今後も松任地区のパトロール強化を含めて、交番設置に向けて継続的に要望していきたい。これまでの県警の対応については、交番の設置は人員が限られている現状から市民からの要望、地域の犯罪・交通事故発生状況などの治安情勢、近隣の交番や駐在所の設置状況などを考慮して総合的に判断するとのことだった。</p>
2	<p>地区で防災訓練を実施したが、防災行政無線からの放送が全く聞こえない。災害時には風が吹いているか、雨が降っていることが多く、風向きによっては全く聞こえないことになる。告知放送というものもあるが、新しい機械になってから放送されなくなった。市からの情報をどのように伝達してもらえるのか。また、計画していることがあれば教えてほしい。</p> <p>（相木地区）</p>	<p>災害は昼夜を問わず、また、どのような気候のときに起こるかわからない。そのため市も防災行政無線や告知放送などを整備しているが、多くの人から放送は聞こえないことを聞く。最近の住宅は気密性が高く、窓を閉めていると本当に聞こえないという問題をどの地区からも聞いている。そういう中で、告知放送などはその時間に家にいる人だけにしか伝わらないため、より多くの人に伝えようとした場合には、スマートフォンなどを活用した個別での方向になっていくのではないかと思う。</p>	<p>この御意見は10月の北相木5区町内会の防災訓練のことだと思う。このときの訓練放送は事前に町内会長と協議して、朝8時にあいき保育園の屋外拡声子局のみを使用して機械音声で流れるものだった。地区限定の訓練ということで、あいき保育園のみの屋外放送のため聞こえづらかったと思う。なお、実際の緊急一括放送は、周辺の機器から最大音量で流れるので、ほとんどの地区をカバーすることになる。屋外拡声子局は周知を図る上での一つの手段として考えており、実際には携帯電話、テレビ、ラジオ、音声告知放送等で周知することになる。</p>
3	<p>スクールサポート隊は大変な仕事であるため、市として何か援助することはできないのか。</p> <p>（相木地区）</p>	<p>地域によって、小学校によって形態が違うので、一律で何かをしようとするとう問題があることは聞いている。昨年からは保険が付いたと思うが、厳しい財源の中で教育委員会もできるところからと考えている。</p>	<p>市内の子供見守り活動は、36団体、1,100人を超える方々が携わっている。見守り活動を続けていくためには、全域の活動内容の把握や学校と各団体との連携、情報共有や研修会などの体制づくりが必要である。行政として活動の把握や課題の整理等を行いながら、支援について前向きに検討したい。</p>

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
4	<p>道の駅めぐみ白山の整備に多額の予算がついているが、徳光町にもこれと似たような施設がある。もしその施設が中途半端な状況にあるということであれば、その教訓を踏まえて、この道の駅に生かしてほしい。</p> <p>(相木地区)</p>	<p>徳光町の施設については、おそらく市としても思惑が外れたと思う。大きなお金を費やして、また道の駅ということで心配されることもわかる。今、行政が主導で成功しているところが余りないため、農協を中心に地元の食材や発酵食品を含めて、いろんな特色を出してほしいということを行っている。</p>	<p>道の駅めぐみ白山は日交通量5万台を超える国道8号沿線に立地することで、より効果的に観光客や道路利用者など多くの来場者が見込める施設であると考えている。開業までに直売所やレストランの委託事業者、並びに株式会社めぐみ白山取締役会において、特色のある道の駅となるよう品ぞろえを初め、集客のためのイベントの企画立案など協議を重ねていきたい。</p>
5	<p>まちづくり会議の中で、協議会を設置して地域振興をしていきたいという話があった。地域の活性化のために何かやりたいと市に言えば、市はそれに対し予算付けし、協議会がその予算もらって行うのか。</p> <p>(出城地区)</p>	<p>他県の市町では、公民館単位で地区の重要課題に優先順位を決め、一括交付金制度を導入しながらまちづくりや地域振興を図っているところがある。白山市では一律の対応ということにはならないと思うが、方向性としてはそういうところが主体となって、一緒にまちづくりをしていくと理解していただきたい。</p>	<p>地域で進める新たなまちづくり組織や財政支援制度の創設を検討している。財政支援制度は一括交付金で交付し、地域自らが各事業に優先順位をつけ、地域の実情、特色に応じて計画的な取り組みを支援するものであり、制度の創設に向けて、議論を重ねていきたい。</p>
6	<p>以前に松任で大きな火災があった。消火栓等もしっかりしているが、七ヶ用水の停水時に火災等が発生したときはどのように対処していくのか。</p> <p>(出城地区)</p>	<p>七ヶ用水の主は農業用水だが、生活用水や環境用水、そして年中通しての防火の役割を担っている。もちろん各集落にも防火水槽や消火栓等も整備されているが、市としても七ヶ用水を使いながらしっかり水を蓄える消火水利を確保しておくことが大事になる。</p>	<p>今回の七ヶ用水の停水期間は台風の影響もあり、40日間という長期間になったが、あらゆる消防水利を再確認し、消防団員には携帯メールで周知した。現在、準防火地域の消防水利マップを作成中であり、このマップの成果を検証して、他の地域にも拡大する取り組みを考えている。そのほか火災の際には、今ある用水に水をためる防火水槽的な機能についても考えている。</p>

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容
7	<p>七ヶ用水に架かっている橋が地域によってしっかり防護柵が2重になっているところもあれば、子供が通るところに限って防護柵が悪いところがある。子供たちが遊んでいて落ちないとも限らないので、修理をお願いしたい。</p> <p>(出城地区)</p>	<p>七ヶ用水はもともと田んぼの中を走っていた用水で、開発によって団地や工場ができ、また通学路になるなど非常に状況が変わってきている。各小学校では毎年危険箇所の見回りをPTAと一緒にしており、その中でフェンスが壊れているなどの要望を地区のほうから上げていただきたい。</p>	<p>通学路における危険箇所については、各小学校で毎年春先にPTAとともに点検をし、危険箇所があれば要望を上げていただいている。その後の関係機関が集まって市通学路安全推進会議を開催し、市全体で危険箇所の共有を図って対応している。それ以外の時期でも、危険箇所があれば要望を上げていただき関係機関とともに対応していきたい。</p>
8	<p>珠洲市であった国際芸術祭に目標を大幅に上回る7万人が押し寄せ、道路も歩けなかったということだった。白山市には新幹線効果もなく、インバウンドでの訪日外国人もほとんど金沢市で泊まっている。白山市にその一部分を導くようなアイデアを立ててほしい。</p> <p>(出城地区)</p>	<p>今年白山開山1300年ということで関東からの登山客は増えており、新幹線を生かしながら考えていくことが必要になる。白山開山1300年事業は来年までの計画となっており、来年にどう生かしていくか私たちもアイデアを出していきたい。</p>	<p>本年度の白山開山1300年記念事業には、市内外から多くの方に参加いただき、白山への認識を高め愛着を深めていただいたことや、数多くメディアに取り上げられるなど、白山及び白山市の知名度向上が図られたと考えている。また北陸新幹線開業により金沢市と連携してバスツアーを実施するなど、誘客に努めてきた。さらに北陸新幹線延伸に向け、環白山及び加賀地域と連携した広域観光を推進している。インバウンドについては観光マップや英語版のチラシを作成や英語の観光ウェブサイトを開設など、随時新しい情報を発信している。今後は、市民のアイデアを生かしながら取り組んでいきたい。</p>

常任委員会での協議内容（平成29年12月分）

No	議会報告会での高校生からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	<p>①北陸鉄道石川線の電車が30分に1本しかなく、乗り遅れたら遅刻するため、15分に1本にしてほしい。帰りの本数も増やしてほしい。また、鳥越から鶴来間のバスの本数を増やしてほしい。（鶴来高校）</p> <p>②北陸鉄道石川線で通学しているが、途中で遮断機のない踏切があり、危険なため北陸鉄道に話をしたほうがいい。（鶴来高校）</p>	<p>①増便について北陸鉄道に伝えたが、現状では石川線及びバスについても現実的に難しいとの回答があった。</p> <p>②遮断機のない踏切が2カ所あることを北陸鉄道に伝えたが、すぐにできるなどの答えはいただいていない。</p>
2	<p>①野々市市の「のっティ」はショッピングモールなどに向けて運行しているので乗ることもあるが、「めぐー」は運行していないので乗らない。（鶴来高校）</p> <p>②コミュニティバスは通学で利用するには時間が遅く、帰る時間には運行していないので本数を増やしてほしい。自治体をまたぐ連携ができればもっと便利になる。（松任高校）</p> <p>③白山ろく地域から通学できる交通手段として、コミュニティバスを充実してほしい。（翠星高校）</p> <p>④休日に出かけようとしても、晴れた日はいいが、雨の日にコミュニティバスを利用しようとしても運行していないので、休日でも運行してほしい。（翠星高校）</p>	<p>①松任駅を起点にコミュニティバスはイオン松任に11便、ラスパ白山に22便、アピタに10便を運行している。野々市市からはJRを使って、コミュニティバスに乗ってショッピングモールに行くことは可能。</p> <p>②通学などの利用に係る増車はなかなか難しい。ただ自治体をまたぐ連携については、JR野々市駅、金沢脳神経外科病院には運行している。なお、来年度の地域公共交通会議には、野々市市や能美市の担当部局にも参加してもらい、自治体間の連携を検討したい。</p> <p>③白山ろく地域は北陸鉄道石川線ならびに路線バスで対応できるような形になっている。ただしコミュニティバスとの連携で悪いところがあれば、研究していきたい。</p> <p>④以前に休日の運行したときに非常に利用が少なかったという現状があり、今後の検討課題としたい。</p>
3	<p>市の職員の対応が悪いので直してほしい。（松任高校）</p>	<p>これまでも機会があるごとに全職員への周知徹底や、毎年接遇の研修を行っている。市長への提案ハガキや提案メール、お電話などで不誠実な対応や苦情の御指摘などは、所属長に改善を指導している。また、今年度は各課に挨拶の標語を掲示して、職員が自発的に挨拶に心がけ、市民から不快に思われない職場環境づくりに努めている。今後も引き続き職員の意識改革を行っていきたい。</p>
4	<p>横断歩道や信号機が少ない。（翠星高校）</p>	<p>横断歩道や信号機の設置要望については、地元町会や区長会からの要望を受けて、白山警察署に要望している。警察でも現地の通行車両や横断歩行者の数、地形、隣接の信号機や横断歩道などを調査して警察の判断で必要と認められれば、石川県公安委員会により設置している。</p>
5	<p>古くからの祭りや歴史と文化があふれている。（鶴来高校）</p>	<p>大変うれしい意見であり、諸先輩方の御労苦のたまものと感謝しています。今後とも若い世代にも誇りが持てる白山市となるよう、伝統文化の保存継承と活用に努めたい。</p>

No	議会報告会での高校生からの主な意見	常任委員会での協議内容
6	医療費の無料化がいい。自分や親にとっても助かっている ので、できることなら二十歳まで広げてほしい。(松任高校)	白山市では安心して子育てができるように、18歳に達する 日以降の最初の3月31日までの医療費を助成している。市の財政的に 厳しい現状からも当面現行の制度のまま実施していきたい。
7	松任文化会館の1階におしゃれなカフェがほしい。 (松任高校)	松任文化会館1階に設置するテナントは、魅力的な要素を 備え、店内に気楽に立ち寄ることができる居心地のよさと同時に、 おしゃれな空間の演出も大切と考えている。待ち合わせや打ち合わせ など市民の交流並びに憩いの場として幅広い年齢層に御利用いただけ るスペースになればよいと思う。
8	①高校周辺にショッピングモールやコンビニなどのお店が 少ないので不便である。(鶴来高校) ②松任地域の銭湯がなくなってきているので、スーパー銭 湯のようなものがほしい。(松任高校)	①鶴来高校周辺に商業施設の出店等の予定はなく、既存の 施設を御利用いただきたい。 ②各戸では内風呂の普及や賃貸住宅にも風呂つきが一般的 となっていることや、銭湯経営者の高齢化や後継者がいない などの理由により銭湯は減少の一途をたどっている。ス ーパー銭湯については、事業者の意向が優先されるものな ので、市として誘致することは考えていない。
9	①富山県に日本一景色がいい有名コーヒー店があるが、獅子 吼高原の頂上に建てれば、ここが日本一になって流行る のではないかと。(鶴来高校) ②松任駅周辺の賑わいとして、ファーストフード店がない。 外国人観光客に来てもらえるように、ホテルと違い趣があ る日本旅館があればいい。足湯があれば電車待ちをしている 人や、お年寄りの憩いの場になる。(松任高校) ③駅前や市役所周辺でのイベントが多くていい。(翠星高 校) ④イルミネーションのイベントがとてもきれいだったので、複 数回の開催をしてほしい。若者向けの音楽フェスティバルを 開催してほしい。(翠星高校) ⑤インスタ映えする場所がない。(鶴来高校)	①現在、地元の皆さんと獅子吼高原の魅力を最大限に引き 出せるよう、平成30年度中に獅子吼高原再整備計画の策 定に取り組んでいる。 ②松任駅前の整備に合わせて建設されたポポロビルに現在 空き店舗があり、希望する事業者があれば受け入れてもら えんと考えている。また松任地区ではホテルでの外国人宿 泊数の増加が見られるが、一方で日本旅館での宿泊がほと んど見られない。また足湯については現段階では難しいと 考えているが、来年度文化会館の改修などの駅前のにぎわ いとあわせてくつろげる空間も考えていきたい。 ③駅前や市役所周辺でのイベントについては、皆様の参加 が何より大事と考えており、今後も多くの方や幅広い年齢 層に参加いただけるように工夫して考えていきたい。 ④イルミネーションイベントは、多くの方に御来場いただ き、白山と白山市のPRになったと考えており、次年度も 引き続き実施したい。なお音楽フェスティバルなど、若者 が訪れたいというイベントについても検討していきたい。 ⑤白山市は市域全体がジオパークに認定されており、日常 生活で何げないと感じている風景や歴史、文化及び大地と 自然、人々の生活の物語もある。用意されたインスタ映え を求めるだけでなく、ぜひ高校生にはふるさとの宝物探 しのつもりで白山市の魅力を発信していただきたい。

No	議会報告会での高校生からの主な意見	常任委員会での協議内容
10	<p>①学校の帰り道が暗い。特に高校から鶴来駅までの間、白山ろく地域に向かえば向かうほど暗いので、街灯を設置してほしい。(鶴来高校) 通学路が暗いので街灯を設置してほしい。また、町なかの路側帯が狭いので、自転車道をつけてほしい。道路に穴があいているところは直してほしい。(松任高校) 基本的に街灯が少ないので、夜の道が暗い。(翠星高校)</p> <p>②自転車走る歩道(車道)が道路の両側にないため、左側通行をしようとするのが危ない。また、キャニオンロードが暗く、柵もないため用水に落ちそうで危ない。(鶴来高校) 道路の線が薄くなっているところや、路側帯の線が消えているところもあるので危なく、歩道も狭い。通学に使っている道路でガードレールがない場所があり、車の乗り上げなどで危険なので設置してほしい。(翠星高校)</p> <p>③登校時間に遅れるので除雪を早くしてほしい。(鶴来高校) 融雪装置をつけてほしい。(松任高校)</p>	<p>①市では市内小・中学校の通学路の防犯灯を中心に整備を進めており、高校周辺についても再度点検を実施して対応していきたい。駅周辺の道路についても再度現場を確認して検討したい。</p> <p>②道路の区画線や防護柵については、通学路の安全点検や要望などに基づき、危険な箇所から順次、整備している。</p> <p>③効率的な除雪作業により、早期の除雪に努めるようにしたいと思うが、限られた除雪業者と除雪機械で対応しており、降雪のある朝は余裕を持って出かけていただけるよう呼びかけていきたい。融雪装置について高校周辺の車道の融雪装置はほぼ整備されているが、歩道の融雪は現状では井戸の能力から散水は困難であり、機械による除雪路線となっていることから、なるべく早期の除雪を指導していきたい。</p>
11	<p>白山ろく地域でイノシシやサルが出る場所があるので柵を増やしてほしい。特に柵のない集落と集落の間から入ってくるため、何とかしてほしい。(鶴来高校)</p>	<p>白山市ではイノシシや猿による農作物被害を防止するために、個人や町内会等に侵入防止柵の経費を支援している。侵入防止柵のない集落と集落の間については、集落間の協力をお願いしていきたい。平成30年度からやぶの刈り払いや山際の林の見通しをよくするための伐採を行い、野生鳥獣が出没しにくい環境整備に取り組むこととしている。また猟友会に委託して、箱わなの設置を初め銃による巡回捕獲等を実施し、有害鳥獣被害防止に努めている。</p>
12	<p>①地域で花を植えてきれいなまちづくりをしている。(翠星高校)</p> <p>②大人が体を動かすにも子ども向けの小さな公園が多く、大人でも遊べるような大型遊具(トランポリンなど)がほしい。(翠星高校)</p> <p>③遊園地がほしい。遊園地があれば若い人も集まり、活力も出てくる。(翠星高校)</p>	<p>①市では毎年春と秋の2回、季節に応じた花苗を町内会や保育園、公民館などに配布して、市民の花いっぱい運動の機運や参加意識を高め、地域が主体となった緑と花のまちづくりを推進しており、今後も継続していきたい。</p> <p>②住宅地内にある公園は住宅地開発に伴い、公園を設置するように義務づけているが、開発面積が比較的小さいことから小さい公園が多く、低年齢の子供向けの遊具が多い。なお、大人が利用する健康器具系の遊具を子供が利用すると事故につながる危険性があり、安全対策を講じるよう国から指針が示され、ある程度の大きさの公園でないとな大人用の遊具は難しいと考える。今後老朽化した施設を更新する際、地元町会のニーズを踏まえ検討したい。</p> <p>③遊園地の整備については、収支見込みや来園者ニーズの変化など、将来的な見通しを踏まえて事業主体や整備費の問題もあり、簡単にできるものではないと考えている。</p>